

あいさつで顔見知り

田布施町更生保護女性会

谷 茂子

私たち更生保護女性会は、犯罪や非行のない誰もが住みやすい町づくりのお手伝いできたらしさやかな取り組みを続けています。罪を犯した人の立ち直りを支え、再犯を防ぐには地域の温かい居場所が大切です。

私は犬を飼っています。野良犬の赤ちゃんが今では18歳の高年齢犬となり、介護する毎日ですがかわいくて仕方ありません。ところが、この犬を飼うまでは『犬は怖い』というイメージで、子犬でさえ触ることができませんでした。小さいころ、親戚で飼っていた犬は鎖につながれていたものの私が通るたびに吠えながら猛ダッシュしてくるのです。幼いときから犬への恐怖心が備え付けられてきました。その私が、なぜ、このように犬好きに変身したかという

と、犬を飼うことで身近に接したからだと思います。

よくわからないものには、警戒心が生まれ、そこに『怖い』という偏見や先入観が生まれます。けれども飼ってみると、その犬の良さが見えてくるものです。しつけによって犬もかわいさが増してきます。

人も同じではないかと思うのです。声のかけ方や接し方では素直になれるし、顔見知りになれば、出会った時にお互いが自然と笑顔になります。

そこで、顔見知りになるよい方法の一つにあいさつがあります。あいさつは、その人の存在を意識することから生まれます。名前を知らなくてもあいさつを交わし合うだけで、ほのぼのとして気持ちのよいものです。

地域のみんながあいさつで知らない人とも顔見知りになり、笑顔で接する事ができるようになれたらいいですね。こんなやさやかな活動を地域の皆さんと一緒に続けていけたらと思っています。

No.197

サークルスケッチ

ちぎり絵



- 講師 糸川 博湖
 - 日時 毎月第1・3木曜日
午前9時30分～午前11時30分
 - 場所 中央公民館
 - 代表者 田中 恵美子
 - 問合せ先 ☎52-4360
- ※8月はお休みします。

ちぎり絵は日本の伝統ある和紙を使って作る作品です。色染め和紙を使い、他の紙では出せないやさしい色彩で、温かみのある作品が出来上がるのが特徴です。和紙は厚和紙、薄和紙、落水紙、織維を使い、風景や花、野菜、動物などを題材にして何枚も重ねながら遠近感を出し、一つの作品を完成させます。和紙が残ればハガキに貼って使う事もできます。

作品作りは指先を使うことにより脳を活性化し、完成させた喜びは心を豊かにします。

糸川博湖先生を講師に迎えユーモアを交えた丁寧な指導により、年数の浅い人も一作ずつ楽しく仕上げておられます。経験豊かな人も秋の文化展を目標に作品作りに細かい指導をいただいています。

ちぎり絵教室は、毎月第1・第3木曜日の午前9時30分～午前11時30分まで行っています。時にはお茶を飲みながら休憩したり、健康や料理のお話などで和やかな一時を過ごしています。

私は、先生をはじめ皆さんのお陰で、昭和・平成時代を通して40数年続けることができ、また

令和の新しい時代も、楽しみながら作品作りに励みたいと思います。

皆さまもぜひお気軽に足を運んでみてください。お待ちしております。

